

令和2年度 第3回庄内町立図書館協議会 会議録（要旨）

開催日時 令和3年2月25日（木） 午後6時30分 開会
午後8時30分 閉会

開催場所 庄内町役場B棟2階 会議室2

出席者 出席委員 5名 小野寺姫、仲條一志、三浦志保、菅原昭治、奥山洋子

欠席者 欠席委員 2名 松田 透、舘林由美子

事務局 社会教育課 課長 鶴巻勇

庄内町立図書館 館長 渡曾晃

庄内町立図書館 主査兼係長 佐藤晃子

庄内町立図書館 主事 富樫里沙

議事日程

1 開会 以下進行 事務局

2 あいさつ

小野寺委員長 去年の今頃はコロナが長く続くとは思っていなかったが、これからの事業を考える上で大きな転換点となった1年ではないか。図書館としても事業運営は苦勞したと思うが、今日は今年1年の事業総括と来年度の運営計画ということで活発な審議をお願いしたい。

3 協議事項（座長：委員長）

（1）令和2年度庄内町立図書館・内藤秀因水彩画記念館における事業総括について
〈資料に基づき事務局説明〉

委員長 コロナ禍で数値的には下がっているが、思わぬところで成果が出たところもあり良かったと思う。

※委員より質疑等特になし。

（2）令和3年度庄内町立図書館運営計画（案）について

（3）令和3年度庄内町立図書館協議会年間計画（案）について

（4）令和3年度庄内町内藤秀因水彩画記念館運営計画（案）について

〈資料に基づき一括事務局説明〉

委員 来年の6月に仮オープンし、図書館が大きくなるが職員体制やラーニングコスト等のソフト面についての構想は進んでいるのか。

事務局 ハード面については予定どおりだが、運営面の詳細の検討は今後の課題である。基本計画で検討した5つのコンセプト・目指す姿からずれないように進めていく必要がある。また、新図書館は広がるが、職員体制については現状維持で考えている（正職員2名、司書3名、学芸員1名）。来年度の図書館協議会では、夢や希望が広がるような、コロナ禍での反省だけでなく、新図書館オープンに向けた提案をしていきたい。

委員 新図書館オープンまであと1年だが、目指している図書館の実現に向けてできることと、できないことがあると思うので更なる検討が必要になる。光熱費等のラーニングコストが増えることを心配している。

事務局 ラーニングコストについては、増えることは確実である。オープンに向けて今まで2～3年をかけ、各機関・異業種とのコラボレーション企画など新たな事業に取り組み、現状の人数で出来ること・出来ないことを検討してきた。

館長 庄内町立図書館の「郷土資料の豊富さ」を基本計画の特色の一つとしてあげている。貴重な資料を有効活用し、町民の皆さんに提供するため、新図書館では郷土資料コーナーを設置したい。そのため郷土資料を整理・展示する「郷土資料専門員」のような立場の人を配置できればと考えている。

委員 良い図書館をつくるためにはマンパワーは必要である。ソフト面での強化を期待する。

委員長 マンパワーの必要性は今までも言われてきたが、この財政難の中で押されてしまうのではないかと心配である。現図書館の運営においても新図書館に対応できるように取り組みを行っているようで安心した。経費は、町に任せ、協議会としては中身を充実させるために検討していかなければならない。

委員 令和3年度庄内町内藤秀因水彩画記念館運営計画で、テーマを設けた収蔵品展の開催とあるが、「企画展」の方が合っているのではないか。「収蔵品展」だと新規に収蔵した作品の展示のイメージがある。

事務局 より来館者に伝わる表現にするよう検討する。

委員長 開館時間は、年間通して同じ時間で取り組むと以前話になったが、いつから取り組むのか。来年度から対応するのか。

事務局 新図書館オープンに合わせて、開館時間を変更するつもりで考えている。

委員 休館日について、現在の月曜日から木曜日に変更予定とのことだが、中学校の部活にない日に合わせているということでしょうか。

事務局 部活のない日だと図書館に立ち寄りやすいのではないかと思います設定を検討している。一週間の中で木曜日は一番来館者が少ないので、休館日に設定したいと考えている。

委員 余目中学校では、必ず月曜日は部活なしで一斉下校になっている。

館長 祝日が月曜日の場合は休館となる。但し、中体連などで月曜日に振替休日がある場合、図書館は開いている状態としていきたい。

事務局 祝日の開館については、今後精査して検討を進める。

委員 来年の3月から休館に入ると来年の事業評価の時に影響が出ると思う。何か対策を考えているか。先日、初めてインターネットから本を予約したが、滞在時間が減りすぐに借りることができた。そういうことを休館中も出来るのか。

事務局 当初の予定では、休館中は貸出も一時ストップするように考えていたが、小中学校の春休み中に図書館が完全に閉まってしまうことはどうなのかと意見があった。その対応として、例えば公民館に団体貸出をするなど現在検討中である。子どもだけでなく大人に対しても、休館中のサービスを低下させないでどこまでできるか十分検討したい。

委員 コロナ禍であまり外に出られないことも考えると、接触を少なくして借りることができればいい。

事務局 今すぐ回答は出せないが、図書館が必要だという意見はありがたい。

委員長 前年度よりインターネット予約は増えたか。

事務局 実績の数字では、図書館に来館して予約するよりも、在宅時にウェブ上から予約する方法に切り替える人が増えている。図書館としては、目的の本だけでなく、多様な本との出会いが減ってしまうので残念でもある。人数減少はありつつも、図書館に足を運んでもらうことは大変うれしいことである。

委員長 インターネットでのつながりは、コロナだけでなくもこれからの社会の中では必要になってくる。この機会に充実させてほしい。

事務局 参考までに新図書館のラーニングコスト（光熱水費）について、設計者の試算では今の図

書館と比較して1.6倍になる予定。面積が大きくなることに連動し増加している。

委員 少しでも人件費にまわしてあげて欲しい。

事務局 現図書館の老朽化が大変進んでおり、光熱水費が1.6倍にはなるが少しでも快適に本と過ごしてほしいと考えている。

委員長 他に意見がなければ協議を終了する。

4 その他

・庄内町立図書館整備事業（実施設計）について

〈資料に基づき事務局説明〉

課長 立川総合支所が完成後、分館の資料の引っ越し作業が発生する。また、令和4年度の改修時は中に人を入れない予定なので、立川総合支所で行っている業務をどこで行うかということで調整が必要になる。狩川公民館に間借りするとなると、分館の部分を調整し事務室を確保しなければならない。現在の狩川公民館事務室に立川総合支所の窓口を設置しないと配線の関係上うまくいかず、公民館の職員が分館部分に移動しないとスペースが確保できない。立川総合支所にいる他の職員は、狩川公民館2階の小ホールで事務を行う予定である。これからさらに調整が必要になるが、分館部分については、行ったり来たりしてしまう可能性がある。

委員 一括発注方式について経費面で具体的にどのくらい有利になるのか。また、スケジュールについて令和4年3月に2期工事着工だが、繰越明許となるのか。

課長 一括発注方式に係る具体的な数字については、議会にも報告していないのでここでは控えたい。分離発注でも一括発注でも「工事費」と言われるところの額は変わらないが、業者ごとに支払う経費が変わってくる。今回の工事に関しては、すべて債務負担行為を組む。工事は1期と2期まとめて発注し、3月31日で切り替えなるようにする。工期は短くした方が経費を抑えられることもあるので、間髪入れずにすぐ切り替えることを選択した。

委員 2期工事の分も令和3年度で予算をみているのか。

課長 債務負担行為を組むので、年度ごと支払いをする。コストの圧縮を踏まえこの発注方式になった。

5 閉会 事務局